

検索ボックス

検索

[<< 自己免疫性肝炎 | TOP | 新型コロナの解剖例 微小血管の新生 >>](#)

2020年07月11日

<< 2025年12月 >>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

最近の記事

- [\(12/03\)前立腺がんのモニタリングに MRI 単独は信頼できるか？](#)
- [\(12/01\)マイコプラズマ感染症にミノマイシン服用の是非](#)
- [\(11/29\)心房細動アブレーション後の積極的ライフスタイル管理](#)
- [\(11/27\)糖尿病治療薬SGLT2阻害薬の尿路感染症後の中断](#)
- [\(11/25\)慢性咳嗽・UCCにリフミアの効果は？](#)

最近のコメント

- [鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用 by \(09/13\)](#)
- [23価肺炎球菌ワクチンの局所反応 by \(07/11\)](#)
- [急性心不全のラシックスの効果減弱 by \(06/10\)](#)
- [小児の腸重積・ロタウイルスワクチンとの関係について by \(05/02\)](#)
- [II型糖尿病患者にスルホニル尿素薬の有効性について by \(04/19\)](#)

タグクラウド

カテゴリ

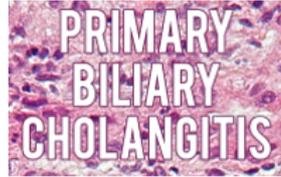
- [小児科\(282\)](#)
- [循環器\(346\)](#)
- [消化器・PPI\(199\)](#)
- [感染症・衛生\(339\)](#)
- [糖尿病\(172\)](#)
- [喘息・呼吸器・アレルギー\(141\)](#)
- [インフルエンザ\(124\)](#)
- [肝臓・肝炎\(68\)](#)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導\(59\)](#)
- [脳・神経・精神・睡眠障害\(82\)](#)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症\(48\)](#)
- [ワクチン\(103\)](#)
- [癌関係\(20\)](#)
- [脂質異常\(32\)](#)
- [甲状腺・内分泌\(22\)](#)
- [婦人科\(24\)](#)
- [泌尿器・腎臓・前立腺\(69\)](#)
- [熱中症\(7\)](#)
- [日記\(37\)](#)
- [その他\(112\)](#)

過去ログ

- [2025年12月\(2\)](#)
- [2025年11月\(14\)](#)
- [2025年10月\(12\)](#)
- [2025年09月\(15\)](#)
- [2025年08月\(13\)](#)
- [2025年07月\(14\)](#)

原発性胆汁性胆管炎 (PBC)

原発性胆汁性胆管炎 (PBC)



外来患者さんで、胆道系酵素のみが上昇してエコー検査では閉塞性疾患が認められない時、更に肝炎ウイルスが陰性ならば、PBCを疑います。本疾患の原因は、リンパ球のT細胞が肝内細胆管を攻撃する自己免疫疾患です。倦怠感、皮膚掻痒症、ドライマウス、甲状腺疾患が初発症状で来院する事もあります。

Uptodateによりますと、1/2が倦怠感で、1/3が皮膚掻痒症です。この倦怠感は、筋肉内のミトコンドリアの機能低下が主とされています。皮膚掻痒症は夜間に増悪し、乾燥性皮膚とも関係しています。原因は不明ですが、8~15%に右季肋部痛を認めています。70%に肝脾腫を伴います。抗ミトコンドリア抗体が有力な診断ツールですが、早期の診断では13%との報告もあり、確定診断に對しての時期には問題が残ります。また抗核抗体も70%が陽性です。95%が女性で、小児や30歳以下では稀としています。

以下は「今日の臨床サポート」を纏め、下記にPDFでも掲載させていただきます。

- ・PBCは中高年女性に好発し、胆道系酵素上昇と血清IgM高値ならびに抗ミトコンドリア抗体 (AMA) 陽性を特徴とする。織学的には、慢性非化膿性破壊性胆管炎 (chronic non-suppurative destructive cholangitis, CNSDC) を特徴とし、小葉間胆管が破壊されることにより慢性進行性に胆汁うっ滞を呈する疾患である。
- ・胆道系酵素 (ALP、 $\gamma$ -GTP) の上昇を認め、抗ミトコンドリア抗体 (AMA) が約90%の症例で陽性である。IgMの上昇を認めることが多い。
- ・肝組織では、肝内小型胆管 (小葉間胆管ないし隔壁胆管) に慢性非化膿性破壊性胆管炎 (chronic non-suppurative destructive cholangitis, CNSDC) を認める。中高年女性に好発し皮膚掻痒症で初発することが多い。
- ・皮膚掻痒感、黄疸、食道胃静脈瘤、腹水、肝性脳症など肝障害に基づく自覚症状を有する症候性原発性胆汁性胆管炎 (symptomatic PBC、sPBC) と、無症状の無症候性 (asymptomatic) PBC (aPBC) に分類される。
- ・PBCの進展は緩徐進行型、門脈圧亢進症先行型、黄疸肝不全型、の3型に大きく分類される。
- ・ウルソデオキシコール酸 (ursodeoxycholic acid、UDCA) が第1選択薬である。進行した症例では肝移植が唯一の救命手段となる。
- ・欧州肝臓学会 (EASL)、米国肝臓学会 (AASLD) にて「primary biliary cirrhosis」から「primary biliary cholangitis」へ変更されることが認められた。わが国においても「原発性胆汁性肝硬変」の病名が「原発性胆汁性胆管炎」に変更された。
- ・シェーグレン症候群、関節リウマチ、慢性甲状腺炎などの自己免疫性疾患に肝障害を認めた場合にも原因疾患として想起する。診断の際は、50~60%は無症状であるとの報告がある。
- ・血液所見で慢性的胆汁うっ滞所見 (ALP、 $\gamma$ -GTP の上昇) と AMA陽性 (間接蛍光抗体法またはELISA法による) (感度 95%、特異度98%)、CT検査等で他疾患が除外され、更に肝組織学的検査で特徴的所見 (CNSDC、肉芽腫、胆管消失) が確認されればPBCの診断となる。

[2025年06月](#)(13)  
[2025年05月](#)(15)  
[2025年04月](#)(17)  
[2025年03月](#)(13)  
[2025年02月](#)(14)  
[2025年01月](#)(16)  
[2024年12月](#)(14)  
[2024年11月](#)(12)  
[2024年10月](#)(13)  
[2024年09月](#)(14)  
[2024年08月](#)(12)  
[2024年07月](#)(15)  
[2024年06月](#)(14)  
[2024年05月](#)(14)  
[2024年04月](#)(12)  
[2024年03月](#)(14)  
[2024年02月](#)(13)  
[2024年01月](#)(19)  
[2023年12月](#)(17)  
[2023年11月](#)(13)  
[2023年10月](#)(15)  
[2023年09月](#)(12)  
[2023年08月](#)(16)  
[2023年07月](#)(15)  
[2023年06月](#)(14)  
[2023年05月](#)(15)  
[2023年04月](#)(15)  
[2023年03月](#)(15)  
[2023年02月](#)(14)  
[2023年01月](#)(15)  
[2022年12月](#)(12)  
[2022年11月](#)(16)  
[2022年10月](#)(15)  
[2022年09月](#)(13)  
[2022年08月](#)(17)  
[2022年07月](#)(13)  
[2022年06月](#)(15)  
[2022年05月](#)(15)  
[2022年04月](#)(14)  
[2022年03月](#)(15)  
[2022年02月](#)(14)  
[2022年01月](#)(16)  
[2021年12月](#)(14)  
[2021年11月](#)(17)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

- ・現実的には、ALPが正常値上限の1.5倍を認め、AMA抗体が1：40倍以上を認めた場合は、ほとんどの場合でPBCの診断となる。
- ・わが国におけるPBCの全国調査によると、無症候性PBCの10年生存率は98.6%、20年生存率は95.9%と良好であるが、症候性に進行したPBCでは不良である。
- ・血清総ビリルビン値は、予後因子として最も重要な因子である。
- ・自己免疫性肝炎の病態を合併したPBCにおいては、ステロイド薬が有効である。

私見)

病理の文献と私のブログも掲載いたします。

#### ◆参考文献

- ・病理診断アトラス ベクトル・コア
- ・消化器病理の見かたのコツ 羊土社
- ・一発診断 文光堂
- ・UPTODATE
- ・今日の臨床サポート

[11 PBC まとめ.pdf](#)

[12 PBC 病理.pdf](#)

[13 原発性シェーグレン症候群 Font Size= 6 斎賀医院壁新聞 Font\\_\(3\).pdf](#)

[13 原発性シェーグレン症候群 Font Size= 6 斎賀医院壁新聞 Font\\_\(4\).pdf](#)

[13 原発性シェーグレン症候群 Font Size= 6 斎賀医院壁新聞 Font\\_\(5\).pdf](#)

[14 PBCの検査\(2\).pdf](#)

[14 PBCの検査\(3\).pdf](#)

0

0

いいね!

ポスト

ブックマーク

#### 【消化器・PPIの最新記事】

[医療ネットより](#)

[過敏性腸症候群に対する薬物療法の安全性](#)

[脂肪肝・代謝異常関連脂肪性肝疾患 NEJ..](#)

[大腸内視鏡の前処置における3日間リンゼス..](#)

[新規発症および増悪する糖尿病の篩査スクリ..](#)

posted by 斎賀一 at 18:21 | [Comment\(0\)](#) | [消化器・PPI](#)

この記事へのコメント

